

◎松尾市長とのストーリー…元々私は松尾派筆頭の議員だった！

・松尾市長とのい出合いが無ければ、私は議員にはなっていなかった。
・退職後、色々調べていたら鎌倉が変な事になっている事に気が付いた。
・若くてやる気がありそうだった松尾たかし鎌倉市議と知り合った。
・色々お手伝いしてサポートする事が必要と考え2005年の選挙から手伝った。
・2007年の選挙で彼は神奈川県議会議員に当選。私は選対の中心にいた。
・2007年大晦、彼と国政に行くのか市長を目指すのか？今後について話した。
⇒彼は市長を目指したいと言った。利権と闘い市民派市長を目指すのだったら

改革には覚悟が必要。街中で刺されるぐらいの覚悟があるか？と彼に聞いた。

「勿論あります」と彼が言ったので、だったら手伝うと市議立候補を決めた。

・私は2009年鎌倉市議選に出て市議会議員に当選(松尾県議推薦で出馬)

・2009年10月市長選挙に当選して松尾たかし市長が誕生した。

・松尾市長1期目は様々相談もされながら協力して市政運営に取り組んだ。

・2012年夏過ぎから教育長不在の状態が続きその頃から歯車が狂いだした。

・私はこの教育長不在時に小学校のいじめ問題の相談を受けた。

⇒当然松尾市長に相談した。しかし、彼はまともな対応はしてくれなかった。

⇒いじめを受けた4名の生徒は転向。2家族は転居(内1家族は家を売却)

⇒この頃から彼に不信感を持つようになった。

・子宮頸がんワクチンにおける被害が出て、この問題を私がやり始めた。当然松尾市長に相談した、彼は「全庁的に調査委員会みたいなものを設けてやりたい」と言っていたが、結局そんな事はやらなかった。これも大きな不信感の元。

・私が2013年市議会議員2期目当選。この頃から様々な問題が出た。

⇒わたり問題、白紙請求書問題、コンプライアンス問題、組合委員長44回遅刻問題、定期代不正受給、生活保護費窃盗事件、ハラスメント、現金盗難事件←色々言いましたが松尾市長の協力的な態度は感じられなかった。

○学童の問題…子どもへの指導員からのハラスメント、ダウン症の子どもの入所要件虚偽説明、の案件が発生して私が相談を受けた。保護者の方々と一緒に散々やりました。しかし被害者によりそった対応はなかった。最終報告は記録を残さない為に口頭扱いだった。私が松尾市長を最もゆるせない案件。

○最終的に松尾市長にブチ切れた理由…松尾市政のいまだに迷走している「ごみ問題」。2018年から燃やすごみの戸別収集の実施を予定していたが、2016年1月断念を突然発表した。致し方ない部分もある。しかし、当時の副市長から「長嶋議員にだけはきちんと事前に断念の理由を市長から説明して下さい」と私から言ったのですがお話しありましたか？と言われた。しかし無かった。私はかなり労力を使って相当協力したが…。彼との信頼関係は崩壊した。

142号4期目9号(合併号) 鎌倉市議会議員・長嶋竜弘



市長がわれば、鎌倉は変わる！

中沢克之さんとは彼が議長の際に私が監査委員で一緒に会派を組んだ仲間。政策が一致できたので共に進みます。5百億円規模の村岡新駅・本庁舎移転を止めて、コロナ対策、インフラ老朽化、雇用経済対策への予算投下を行います！

◆市長候補2人とのストーリー、2人を一番良く知る私からのメッセージ

松尾崇氏と知り合った事で議員になって12年、半分までは市長派だった、それがだんだんおかしくなり、なぜ反市長派筆頭議員と呼ばれるようになったのか？お二人とのストーリーをお読み頂ければわかると思います。

◎中沢克之元議長とのストーリー…元々彼とは敵対関係だった！

・中沢克之さんとは同期当選組。1期目交流は無く話す機会もなかった。

・2013年左に記載の教育長候補の選定で問題が起こった時に彼がかなり議会でやった。この頃から彼が言っている事の正しさを感じ始めていた。

・2015年9月議会白紙請求書問題。中沢さんが扱って1ヶ月半議会を止めて徹底的に調べた。様々批判されたがこの事があったので、その後も生活保護費窃盗事件などが発覚して、鎌倉市がコンプライアンスの問題を真剣に取り組まなければならない状況になったと思う。彼のこの時のやった事は、鎌倉市にとって大きな転換のきっかけをつかった。

○彼と急に親しくなったのは学童の問題

左に記載した学童問題。一般質問をやったが逃げる答弁ばかりで実態が暴けなかった。その時意気消沈していた私に『この問題放置しちゃいけないので委員会で秘密会でやりましょうよ』と救いの手を差し伸べてくれたのが彼だった。

○2期目4年目、彼が議長で私が監査委員、会派を組んだ

2期目当初は敵対関係にあった彼とまさか会派を組むなど考えもしない事だった。上島議員(現神戸市議)の力もあり、相当様々な事が出来た1年だった。彼の議長裁きは見事だった。細かい気配り配慮をしてくれた。そして何より立派だと思ったのは、鎌倉市の施設を全て廻って現場把握をした事である。

1-1.村岡新駅が出来ない最大の理由 **村岡新駅・本庁舎移転の問題点を探る**
神鋼橋の近くに橋をかける予定だが、橋を渡った先の駅前まで道路の立ち退きの
に反対している住民は多い、と聞いている。土地買収が出来ないのではないか？

1-2.本 庁舎移転が出来ない最大の理由

市役所移転の計画は地方自治法4条↓違反と長嶋は考えています。」

地方公共団体は、その事務所の位置を定め又はこれを変更しようとするときは、
条例でこれを定めなければならない。⇒2.前項の事務所の位置を定め又はこれ
を変更するに当つては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の
官公署との関係等について、適当な考慮を払わなければならない。

☞出席議員の三分の二以上の者の同意が必要→9名反対で✖

・他の官公署→公共サービス提供は市役所だけでやっている訳では無いが、他は
何処も移転予定なし(保健福祉事務所、警察署、裁判所、県水道営業所、社
会福祉協議会、商工会議所、観光協会、郵便局本局、銀行、医師会など)

・交通の事情→村岡新駅は本庁舎移転予定地から遠くて不便。

1-3.一般社会においてはそれを騙しと言う

①現本庁舎は津波が50センチ程度浸水すると言っていた⇒平成29年3月の本
庁舎整備方針には津波が50cm~120cm 浸水する区域なので、本庁舎と地下に
浸水が想定されると記載されている。しかし、平成27年3月発表の神奈川県最新
データでは現在の本庁舎は津波は浸水しない事となっている。

②新庁舎は現本庁舎の約2倍の面積なのにコンパクトな本庁舎と言っている

③市役所移転予定地近隣は想定最大規模降雨(24時間632mm降雨)の時に浸
水するのにその事を隠していた

④村岡新駅鎌倉市負担金は4億円と言っている

ごみ有料化の収入の使い道
についても騙しをやっている!

鎌倉市の新駅負担金総額は約41億円。鎌倉市所有の保留地の処分金を37
億円充てるから4億円で済むと言っている→保留地が予定価格で売れなかったら
大きな赤字になる。そもそも鎌倉市の税金で買った市民の財産である。

1-4.渋滞に拍車がかかる交通問題

○駅・商業施設・行政施設利用、人口増等による、交通量増加の対応が考えら
れていない→特に商業施設の車の増加は深刻。予定している規模から考えると1
日に最低でも6~8千台程度増える。行き来するのでその倍の台数増加する。

○現状でも近隣道路渋滞が激しく、歩道の整備も不十分、交差点寝違えなども
あり、道路拡幅など改良工事が必要だが一部しか計画されていない。

1.特に深沢小学校横の通り、2.深沢交差点近辺→やまか前→深沢駅前⇨この
導線の歩道拡幅も必須、3.県道藤沢鎌倉線は渋滞が激しいので拡幅必須、4.
古館橋、深沢小学校入口等の交差点寝違えがあり改良工事が必要。

○川沿いの県道は短距離に交通量の多い交差点が出来る→渋滞増加。
→手広→古館橋→村岡新駅入口

○村岡新駅は東西に行き来する道路が計画されていない→行き止まり。

1-5.災害対応など、前提が崩れた

○災害時、深沢の本庁舎を災害対応の前線基地にしている

→前線基地と言うのは前線にあるもの。津波来襲時前線は沿岸部。

→津波ゾーンは孤立化する、関東大震災で経験済み。

→トンネル・電柱倒壊、崖崩れ倒木、建物倒壊などで行き来が困難になる。

→ボランティアセンターは鎌倉市福祉センターに設置(中央図書館隣)、本庁
舎と離れていては行き来が困難な状況になり、活動に支障が発生する。

○緊急交通路指定想定路は深沢地域整備事業用地近隣に通っていない。

→災害時救助や物資の輸送、ボランティアの行き来が困難に陥る。

→国道134号線、鎌倉街道は緊急交通路指定想定路、第1次緊急輸送道
路に指定されている。つまり、災害時はこちらがメイン通路になる。

○地盤が緩い

→本庁舎移転予定地は基礎地盤まで約27m(現庁舎7m)盛り土の下は砂地

→鎌倉の震度が低く出るのは地盤が安定している現本庁舎に震度計あるから

・本庁舎移転予定地は液状化の危険度が高いとなっている(e-かなマップ)

○気候非常事態で水害が頻繁に発生している状況

・2019年台風19号の24時間降雨→942.5mm箱根、604.5mm相模湖

・今年8月15日1時間100mmの降雨→山北町、松田町

・近隣の柏尾川は家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)に指定。

・新川合流地点から下流は家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)に指定。

・境川と柏尾川の分岐点まで感潮区域→満潮時は海水で川がフタがされる

・地盤嵩上げをするようであるがそうすると近隣住宅地は低いままで浸水する。

1-6.財政その他諸問題…予算規模は約5百億円。しかし1.5~2倍かかるのでは?

・行政の見積もりはザル。追加工事が次から次へと出てきて予算がふくれる。

・近隣の方々は土地の値段が上がり、固定資産税が上がる可能性がある。

・コーナン規模の大型商業施設ができると市内商店スーパは打撃を受ける。

・マンションで人口が増えるように見えるが市内横移動が多く空家が増加する。

・老朽化で移転と言っているが現本庁舎は使用する方向性。使えるのでは?

・職員の業務移動時間増加、通勤費用負担4千万円増額。

◎様々な問題点をクリアするためには費用が膨大に増える可能性が大、財源
の確保はどうするのか?次世代の借金でやる事になるのでは?

⇒⇒⇒議会で再三指摘していますが、改善させる見込みのある答弁なし!